

普段着のわたしたち

ついにドラゴンズの新監督が立浪和義氏に決まりそうですね。

ドラフト会議からの電撃的な報道でびっくりしました。強いドラゴンズ復活のためには打線の強化は不可欠ですね。立浪理論で強竜打線復活できるでしょうか？



征阿

『鬼滅』と JR のコラボ商品。JR にお勤めのお宅へお参りに行った際、「息子ちゃんにどうぞ」と頂戴しました。

むむむ…。コレは嘴平伊之助（はしびらいのすけ）君じゃないか！ 私のイチオシ隊員。イノシシの被り物をとると意外と美形。ん～息子にあげたくない。



息子に、戴いた旨説明の上、「これはママが使っている？」と聞くと、「あのさ～、前からちょっと思っていたけど、ママの方が鬼滅にはまってるよねえ。いいよ、欲しいなら」と言われてしまいました。

ば、ばれてたか。

訶梨帝母

『友引町内会通信』をスマホでお読みいただくには、<http://www.daigoji-temple.jp/>「友引町内会通信」をクリック。 寺務局

今回は特別、私の寝室を公開。部屋の中にキャンプ用のテントを張って寝ています。

私の場合良く眠れるので何年か前から毎晩この中で寝ています。夏は冷房の風が直にあ



たることなく（テントには網戸が三か所ついています）、これからの季節は自身の体温でテント内暖房しなくても温かいです。室内なので雨、風の心配はいりません。アマゾンで売られている 3,000 円前後のテントで十分です。ちなみに私のテントは二人用です。寂しく一人で寝ていますが…

俊徳丸



長く厳しい残暑がようやく落ち着いた頃、スニーカーを履いて近所のファミリーパークへ散歩に出掛けました。春に、車椅子を押して親父を桜見物に連れ出しました。今度は暮秋の景色を楽しんでもらおうと下見にきたのです。

広～い駐車場が満車！ 今まで閉じ込められていた人々が一斉に表へ飛び出したのを実感しました。マスクは必要だけど自然に触れられる。解放感が味わえる。癒される。

政府の「Go to トラベルキャンペーン」がなくても、みんな自分で考えて、行きたかった所へ行くのだ。逢いたくても我慢していた人に逢いに行くのだ。 迷走ボー

いい日旅立ち

「嘘ついたら閻魔えんまさんに舌抜かれるゾ」

こう脅かされて地

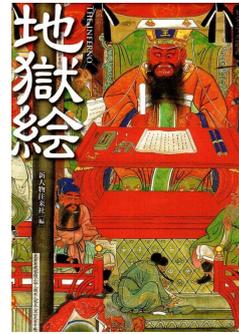
獄絵を見せられた

昔の子どもは震え

あがったものです。

現代の子どもは知らん顔。両親が閻魔大王

を知らないのですから。



実は、閻魔さんが舌を抜くというのは間

違いで、お裁きをするだけです。嘘をつい

た人が墮だいきょうかんじとされる大おうじようしゆう叫喚地獄で刑罰とし

て抜かれるのです。『往生要集』に、

「獄卒が真っ赤に熱した鉄のはさみで舌を

抜く」とあります。抜かれるとまた生えて

きて、繰り返し抜かれる苦しみが続きます。

選挙でテキトーな公約を並べていた立候

補者。あの人とあの人がやがて舌を抜かれ

るのかと思うと、・・・くっくっくっ。

閻魔の庁へ行くのに相応しい正装をご紹

介します。昔からの言い伝えで、元気なう

ちに準備しておく長生きするからです。

生前中に建てておくお墓じゆりよう（寿陵）が長寿
をもたらすと信じられているのと同じです。

佛式葬儀における死装束は経きよう帷子かたびらが決

まりでした。浄衣、経衣とも言われ、単衣

仕立ての白い着物です。その帷子に浄土往

生の願いを込めて経文が書かれることがあ

り、経帷子と呼ばれるようになったのです。

我が宗の場合は「南無阿弥陀佛」ですが、

宗旨によって違いますので、菩提寺でお確

かめください。

「玉止め」や「返し縫い」をしないなど

仕立て方にも作法があります。この白衣を

左前に着せ、帯は立て結びにしてほどこけ

いようにします。

何の為に特別な衣装

を着せてあげるのかと

言うと、故人の最後の

旅支度だからです。道

の長さが八百里（約三、一二〇km）もある

死出の山を越えるのです。先ず、死者の正

装とも言われる寸帽子すんぼうし（天冠てんかん）を頭に付



けます。幽霊が額に付けている三角の布が
あるでしょう。あれです。手甲・脚絆、白

足袋に草鞋履き、数珠を持たせ、日差しや

雨から守る網笠、首からは頭陀袋ずだぐろ、利き

腕に杖。これらを棺に収めます。

俗に、「地獄の沙汰も金次第」と言いま

すね。室町時代に、それ迄歩いて渡ってい

た三途の川に渡し舟ができました。渡し賃

が六文。銭が円に替わっても、紙に丸を六

つ書いて六文銭の代わりに持たせることが

続きました。pay pay やクレジットカードは

使えませんが、念の為に。

この六文銭

（或いは六連

銭）を旗印に



したのが戦国智謀の一族真田家です。いつ
でも死ぬ覚悟があるぞと言う強烈なメッセ
ージで、敵を恐れさせるに効果充分でした。

世話焼きついでに申しますと、この衣装

はユニクロやしまむらに置いてありません。

京都の衣屋へご注文を。

迷走ボー

甚だ不敬ではありますが一言【其の二】

小室眞子さん、いまいずこ。渡米したら病も癒えるのでしょうか。クドイようですが目が覚めたら早めに帰国なされませ。皇族には戻れずとも静かに幸せに暮らす道は百万本もあります。

皇室の話が沸く度にささやかれる「皇位継承問題・女系天皇論」。誰もが核心を突くことはできず、しかし放つてはおけない難題。軽率に論じると河野太郎氏のように転落しかねない。岸田政権はこの問題に手をつけるか否か。私がココに安易に妙案を提出します。

旧宮家の復活、女系天皇容認ばかりを議論せず、前向きに「側室制度復活」をお考え頂きたい。日本の天皇家は千五百年（？諸説有）もの長きにわたり、男系継承を採用してきました。それを存続させる為に「側室制度」は有効で実績のあるシステムです。実際、明治天皇、大正天皇も庶子ですし、そのように系統維持してきたのです

から、ちよつと前を振り返るだけのことはありませんか。政府資料によれば明治天皇以前の一二代の天皇は嫡子が六六代、非嫡子（庶子）が五五代。側室たちに支えられていたことは明白。そうしないと途絶えていくことは自明之理。なんとか悠仁さまお一人に重荷を背負わせないよう、有識者の方々にお知恵を絞っていただきたいものです。それにはマスメディアの

こもりうた82

統制と田嶋陽子先生の説得が必須かもしれないが。

女系天皇問題と一緒にたにされがちな過去の女性天皇。中でも第四一代持統天皇は男系継承を存続させるために在った女性天皇です。

彼女は天智天皇の皇女。のちに天武天皇（天智の弟？）の皇后になり、草壁皇子を産みます。天武天皇の死後、草壁のライバル大津皇子を葬り、草壁を立て太子するも、まもなく草壁は病死。いよいよ彼女自身も天皇の座に即位。草壁、大津の他にも天武天皇の子はあまたあれど、誰にも譲らず。

草壁の遺子、十五歳の軽皇子（後の文武天皇）へ譲位。なぜか・・・。

実は天武天皇が隣国の人（帰化人）で、天智天皇の弟ではない。故に天武天皇の血筋は全て排斥。草壁は天武天皇の血だが半分は自分。そして軽皇子の母親は天智天皇の娘（持統の異母妹）。「よし、ここへ継なごう」と思ったかどうかは定かではありませんが、万世一系を死守した女帝なのだから。

「持統」というのは死後六十年以上経て贈られた諡号で本名は鸕野讃良（うののさらら）。皇統（天智系統）断絶を阻止し継体持統を成した・・・かどうかは歴史ミス터리。何が事実かフィクションか。



私が中学生の頃から購読し続けてきた愛読漫画『持統天皇物語〜天上の虹』。要約すると「女が本気出すと凄いや」というお話。秋の夜長にいま一度。

こんな（※仮）**広告** 作ってみました…

お寺 DE シェアオフィス

たまには気分転換で、リモートなどの日頃のお仕事、また資格を取るための勉強などをお寺のお堂で試してみてもはどうでしょう。ユニークなアイデアが浮かぶかも… 行き詰ったら仏に向かい座禅で頭リフレッシュ！

- ご利用日 月・金 ※予約が必要ですよ
- 時間 午前9時30分から午後4時
- 使用料 境内、堂内のゴミ拾い、掃き掃除を30分程
- その他
 - ①お一人さまのみの利用
テーブル席4・座卓席1
 - ②堂内「free Wi-Fi」完備

随分と前に、『友引通信』の当初からの読者で、ご高齢の女性僧侶の方と本山の廊下ですれ違った時に、「あなたの書くページは毎回自由奔放で、きっと書きたいことがふつふつと泉のようにあふれ出てくるのでしょうか。」と言われたことがある。褒められたのかも知れないし、内容が薄いと評価されたのかも知れない。私の印象では常に辛口のお方だから。でも現実とは全然違う。その女性僧侶が言われるように、PC に向かいスラスラ楽しく原稿が書けてしまうことは1年に1度あるかないかだ。更にここ何年かは、二十数年間書き続けて「ネタ」も尽き果てた状態。TV ドラマ『相棒』に登場する青木に、「ついに焼きがまわったか、俊徳丸」と言われ締め切りの15日を迎える。毎月10日頃に当誌に何を書くか気になり始め、13日になってもそれが思い浮かばず、14日は一応パソコンの前に

座るものの浮かばずイライラ、締め切り日15日の夜になっても書けない月がある。船越栄一郎に断崖絶壁の海岸に追い詰められた犯人になった私は書き始めるのだが、二行書いては行き詰まり、クイックルワイパーのモップを手に家中をウロウロ歩き回っているらしい。たった原稿用紙3枚分にも満たない字数に毎月苦しめられている。

そんな魔の15日には、以前、迷走坊さんにタブレット端末を教えてもらってからは、それとキーボードを持って街にでかけることにしている。昼ご飯を食べながら、コーヒーを飲みながら少し長居させてもらい、そこで原稿を書いている。それが案外と場所を変えることによって書けてしまうのだ。私にとって店内の程よい人の気配ザワザワ感がなんとなく安心感になり作業の場として適している気がする。

そんな帰り道、JR 岐阜駅前を歩いていたら、最近建った24階建て高齢者向けマンションの2階に「シェアオフィス」ができていた。シェアオフィスを以前テレビで見たことがある。個人で起業した人にとって最初から事務所を借りるとなると大きな出費で、そんな人たちのために入会金と日割りでワーキングデスクの使用料を支払い仕事ができる。広いフロアにいくつもの机が点在し、商談やミーティングもできるスペースが別に用意されている。また、仕事で疲れた時にリフレッシュできる「高酸素室」などケアしてくれる設備もある。こういう施設ならお寺でも出来そう。高酸素注入はできないが、佛のパワーならいっぱい注入してもらえそうだし。入会金無しの使用料金は境内掃除のご奉仕ということではどうだろうか。 俊徳丸

『私説法然伝』(81)

法然がくる⑧

先月号では法然がくるということ、九条兼実について書きました。今月号はその続きについて書きます。

【文治元年からの政治とは、まず頼朝と義経という兄弟の争い、そしてその背景にある関東と「中央」の戦いであった。前にも書いたように頼朝にとって最終的に挑む相手は後白河帝であった。では後白河帝とは何であるのか？そして九条兼実という人が政治トップとなった意味とは何であろうか？

まず後白河法皇とは「治天の君」であった。それは白河帝や鳥羽帝における治天の君の姿とはだいぶ変化していた。後白河帝はまさしく「王家」そのものであったが「王権」(＝統治を実際行う権限と能力)というものに関してでは白河帝や鳥羽帝とはかなり違うものであった。それはまず平家が王権を実質掌握していた時期の治天の君で

あったためである。決してかつての藤原氏による王権の姿とは違うものの、圧倒的な軍事力を背景として政治的な実権を確実に握っていたのは平家であり、それこそ新時代の王権の姿であった。しかし後白河帝も王権は持っていた。なので政治の舞台が混乱するわけであり、最終的に清盛の軍事クーデターを招いたのである。そこで後白河帝は王権を失うわけだが、その後の平家没落により再び表舞台へと舞い戻る。だが、そこで新たな問題となるのが鎌倉であった。つまり頼朝をどうするか、である。なので義経に官位を与え新たな平家とすることでパワーバランスを取りつつ自らの王権の維持のために使おうとしたわけである。だがそれは頼朝が義経を排除した事により頓挫する。同時に奥州藤原氏が族滅された事で日本において鎌倉源氏一門が最大最強の武士となり、ここで後白河帝はチェックメイトとなるわけだが、日本とはそこまで単純なシステムと歴史を持った国ではなかった。

朝廷というものが唯一にして絶対的な法による支配そのものであったのだ。頼朝はか

つての平将門公の如き完全独立帝国を築くというルートを選択はしなかった。あくまで朝廷＝法の支配による秩序の中で王権を奪取する選択をしたのである。なので上京し後白河帝と対峙する必要があったのだ。そのために朝廷を掌握する必要があり、それが出来るのは九条兼実そのひとであり、後白河帝に対する「駒」として最強であったのは事実である。この文治元年以降は完全に政治的パワーゲームの様相となる。それが九条兼実卿にとって人生で最も充実した時間であると同時に、消耗の日々ともなるのである。」

以下次号に続く(征阿)

